

第14回 日本代協コンベンション 実施報告書

『人と地域を支える代理店の未来地図』



2025 年 12 月 4 日(木)



一般社団法人 日本損害保険代理業協会

6	その他自由記載欄	(1)2025 年度まで提供していた保険商品問題については下記を背景として計画しないことします。 ・各保険会社から提供される商品問題等のエラーニングが充実してきていること。 ・提供先であったニュートン・フィナンシャル・コンサルティング社の体制縮小があったこと。 (2)取材活動における、撮影器具(カメラ、マイク)及び編集仕上げなどの問題については追加予算の計上を検討いただきたいが、解決策として各都道府県代協の撮影協力や粕谷企画の活用を想定しています。 動画編集は、編集ボリューム内容によって異なります。 (3)項目 5 の 6 主要コンテンツの確認テスト更新については、委員会で内製化することにより 37 万円となり、132 万円の削減効果があります。 (4)代協の教育事業の展開においては、今後の資格試験の見直しと高度化を踏まえると共に、保険会社や損保協会の教育に関する方向性を見極めつつ対応してまいりたいと考えております。
---	----------	--

以上

第 14 回 日本代協コンベンション実施報告 及び 2026 年度の開催について

コンベンション PT(事務局)

1. 全体の総括

- 例年通り“集い・語らい・高め合う”学びの場として、テーマに沿った基調講演、代協会員によるパネルディスカッション、翌日の分科会まで業界関係者を交えたコンベンションを開催した。
- 第 1 部の式典は、総勢(来賓・関係者含む)426 名と昨年度(423 名)並みの規模での開催となった。基調講演では、おもしろ旅企画 ヒラタ屋 代表 平田 進也氏から講演をいただいた。続いて錦野監事と金澤専務理事がパネラーとなり、大和理事の進行で、今後の代理店の目指す方向性についてパネルディスカッションを行った。
- 第 2 部懇親会は各保険会社社長をはじめ業界関係者、総勢 508 名に参加いただき盛会のうちに終了することができた。
- コンベンション全体を通して参加者からは、概ね高い評価の意見をいただいております、所定の目的を達成したと考える。
- 運営面では功労者表彰の紹介が長くなりすぎたので、次回以降は功労者表彰の時間を確保するなどの時間配分の検討が必要である(紹介文のカットは、なかなか難しい)。また、昨年の懇親会において来賓挨拶・乾杯時に私語が多かった反省から、開会までのドリンク提供をノンアルコールのみとし、ご当地 PR も乾杯後の提供とすることを徹底した。
- アンケートについては、1 週間以内の回答を依頼したが、期限内の回答が 81.2%と低く、後追いによる回答依頼を行った(最終 94.1%)。
- 集約済みの参加代協会員向けアンケートを基に、PT メンバーが総括と次年度対策を行う(1 月 22 日に検証 PT 会議実施予定)。

2. 実施内容

(1) テーマ 『人と地域を支える代理店の未来地図』

(2) 日程・内容・参加者数

① 第 1 部:式典・基調講演・パネルディスカッション[11 月 7 日(金)13:00~18:00 グランドニッコー東京 台場]

(参加者数:代協会員・役員 414 名)対前年度 +1 名

基調講演 : 『ほんまもんのサービスはこれや!』

講師 : 平田 進也氏 おもしろ旅企画 ヒラタ屋 代表

パネルディスカッション : 『顧客からの信頼を守り続けるために“量より質”で

切り拓くこれからの保険代理店ビジネス』

パネラー : 錦野監事(弁護士法人 中央総合法律事務所 代表社員弁護士)

金澤専務理事

ファシリテーター : 大和理事

② 第 2 部:懇親会[同 18:00~20:00 (19:45 中締め) グランドニッコー東京 台場]

(参加者数:508 名 内訳:来賓 39 名、業界関係者 59 名、代協会員・役員他 410 名)

③ 第3部:分科会[11月8日(土)10:00~12:00 損保会館、ベルサール神田]

a. 吉田ゼミ(損保会館 2F : 145名)

『損保業界における“真の”顧客本位の業務運営の実現に向けて
～保険業法改正と最善利益勘案義務を企業価値向上につなげる～』

講師 : 吉田 桂公氏 のぞみ総合法律事務所 弁護士 (日本代協アドバイザー)

b. 渡瀬ゼミ(損保会館 5F : 89名)

『なぜ口下手・あがり症の私がトップ営業になれたのか?
～お客様との信頼関係をつくるコツ～』

講師 : 渡瀬 謙氏 サイレントセールストレーナー/有限会社ピクトワークス 代表取締役

c. 中島ゼミ(ベルサール神田 3F : 79名)

『SWG時代における損害保険代理店の未来戦略
ー保険業法改正を踏まえた“あるべき姿”のデザイン』

講師 : 中島 達朗氏 株式会社ふるサポ(Furusapo) 代表取締役

d. 今林ゼミ(損保会館 4F : 65名)

『地域密着型代理店の「SDGs」と「女性活躍推進」とその1000日間』

講師 : 今林 砂緒里氏 株式会社KIC[キック] 代表取締役 (広島県代協会員)

3. 主な収支

○会費収入 : 3,576,000 円 (会員 2,880,000 円、関係先 696,000 円) 前年度比+494,000 円

○ホテル支払 : 14,005,037 円 前年度比 +1,031,667 円

(主たる要因)

飲食物代 : +560,970 円 … (飲物)実数計上方式

室料 : +252,000 円

その他(サービス料、消費税) … +220,827 円

○分科会会場 : 727,520 円(損保会館 461,320 円、ベルサール神田 266,200 円) 前年度比+61,680 円

※前年ソラシティ 206,800 円

○撮影業者支払 : 1,145,980 円 前年度比+37,400 円

4. 事務局体制

○埼玉県代協、千葉県代協、神奈川県代協、東京代協の若手会員、日本代協事務局(計11名)でPTを組成し、イベント企画会社を通さずにPTメンバーで企画段階から当日の運営まで担当(2025年4月より、会場の下見含め計7回のPT会議を開催)。

○当日は、上記メンバーに加え、日本代協事務局の計18名で運営。

5. 2026年度 第15回コンベンション開催予定

○日程・会場

11月13日(金)13:00~17:30 式典

会場 : グランドニッコー東京 台場

18:00~20:00 懇親会

会場 : 同上

11月14日(土)10:00~12:00 分科会

会場 : 損保会館、ソラシティ

ご当地PR : 南東北ブロック

以上

第14回日本代協コンベンション アンケート結果

＜アンケート回収状況＞ アンケート実施期間：2025年11月7日～11月21日

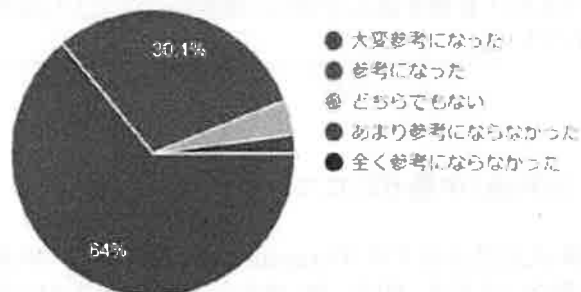
・対象者：代協会員 367名、代協役員 21名 回答：365名（回答率 94.1%） * 2024年度：355名（回答率 91.3%）

＜評価概要＞

- ・前年に準じた内容で開催したこともあり、大きな混乱もなく、一定の評価を得た。
- ・式典（功労者表彰、基調講演、パネルディスカッション）の時間配分について次年度の検討課題が明確になった。

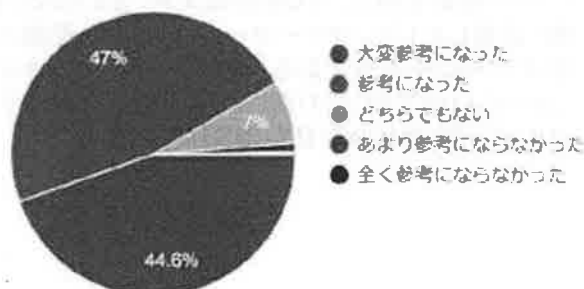
Q 基調講演・講師について

- ・おもしろ旅企画 ヒラタ屋 平田進也氏に講演を依頼し、363名、94.1%から「大変参考になった・参考になった」との回答があった。
- ・第13回基調講演の原田宗亮氏（96.0%）、第12回の村尾隆介氏（91.3%）同様、高評価を得た。
- ・参加者の多くから「言われる前にやるのがサービス」「相手を喜ばせる姿勢」に強く共感したという意見が出された。同時に「後継者育成」という現場課題の大きさや、独自スタイルが「属人生が高い」ことへの懸念も一部に見られた。



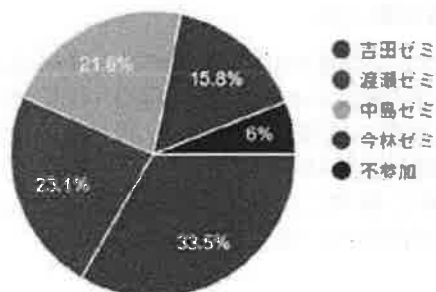
Q パネルディスカッションについて

- ・171名、44.6%から「大変参考になった」、180名、47.0%から「参考になった」との回答があった。
- ・「直近の業法改正の方向性や金融庁の監督指針など行政の考え方」や「代理店の将来像」に関する理解が深まったといった意見が多かった。一方で「もっと深堀してほしかった」「双方向性がほしい」「小規模・零細代理店の実態をもっと反映してほしい」など、様々の意見があった。



Q 分科会ゼミの受講予定割合について

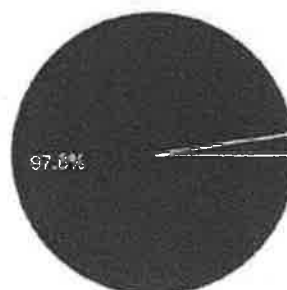
- ・分科会は、各会場の収容人数制限があるため、参加者の希望を基に、各ゼミを65～145名程度の受講者数に振り分け開催した。
- ・吉田ゼミ 145名、渡瀬ゼミ 89名、中島ゼミ 79名、今林ゼミ 65名



Q 分科会（吉田ゼミ）について

- ・のぞみ総合法律事務所 弁護士 吉田桂公氏に講演を依頼し、124名、97.6%から「分かりやすかった・満足いく内容だった」との回答を得た。
- ・個別意見では、「顧客本位の業務運営の本質が腹落ちした」「自社の体制整備・不足店が明確になった」「社内共有・研修資料として活用したい」「最新の業法・行政動向を踏まえたタイムリーな枚葉だった」「もっと時間がほしかった」「一部テーマ（比較推奨の監督指針など）について、より詳細な見解が聞きたかった」などの意見が出されている。

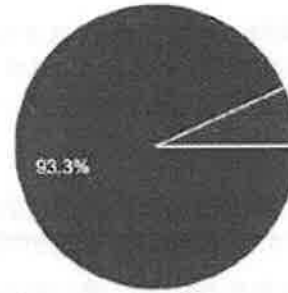
- 分かりやすかった・満足いく内容だった
- どちらでもない
- 難しかった・物足りなかった



Q 分科会ゼミ(渡瀬ゼミ)について

- ・サイレントセールストレーナー/有限会社ピクトワークス 渡瀬謙氏に講演を依頼し、83名、93.3%から「分かりやすかった・満足いく内容だった」との回答を得た。
- ・個別意見では、「アイスブレイクの意味と効果を明確に理解できた」「観察・洞察・傾聴の重要性を実感した」「営業はクロージングではなく不安・不満の解消であるという点が腹落ちした」「前日のセミナーと対極でありながら、根本は同じ“信用の獲得”であると理解できた」「著書を読んでさらに理解を深めたい」などの意見が出されている。

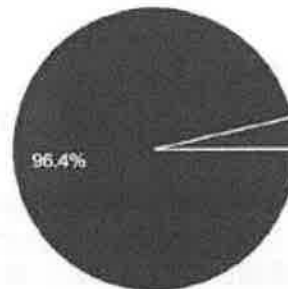
- 分かりやすかった・満足いく内容だった
- どちらでもない
- 難しかった・物足りなかった



Q 分科会(中島ゼミ)について

- ・株式会社ふるサポ(Furusapo) 代表取締役 中島達朗氏に講演をいただき、80名、96.4%から「分かりやすかった・満足いく内容だった」との回答があった。
- ・個別意見では、「今後の経営の方向性や新たな価値観について、ヒントや指針を得た」「代理店は大きく変わらなければならないと強く自覚した」「リンクワーカーという新しい役割が、未来の代理店モデルに不可欠であると理解できた」「ウェルビーイング、コミュニティ・ハブとしての新しい存在価値を創造すべきという理解が広がった」などの意見が出されている。

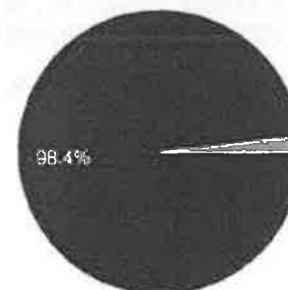
- 分かりやすかった・満足いく内容だった
- どちらでもない
- 難しかった・物足りなかった



Q 分科会(今林ゼミ)について

- ・株式会社KIC[キック] 代表取締役 今林砂緒里氏に講演をいただき、60名、98.4%から「分かりやすかった・満足いく内容だった」との回答があった。
- ・個別意見では、「今までSDGsの進め方が分からなかったが理解できた」「防災・減災への取組は他団体・代協での導入に応用できる」「女性目線の施策、環境整備、男性との役割分担、心理的安全性の確保などが参考になった」「代理店ブランド構築の具体例として非常に参考になった」「広島に行ったら立ち寄りたい」などの意見が出されている。

- 分かりやすかった・満足いく内容だった
- どちらでもない
- 難しかった・物足りなかった



Q6 全体を通じての感想・要望等(抜粋)

感想	・基調講演、パネルディスカッション、分科会すべて「勉強になった」「刺激を受けた」という声が多数あった。 ・業界の変化に対する「最新情報」がありがたかった。 ・他県との交流、同業者との意見交換の場として参加して良かった。
要望等	【全体・会場】 ・功労者表彰をもっと簡潔(経歴などはスクリーンを活用)に、功労者がせっかく来ているのだから一言発言いただく。 ・各委員会の活動や各県の取組みを報告する場があると良いのではないかな。 ・全体的に時間が長いので、懇親会以外はオンラインを活用し多くの会員に参加してもらいたい。 ・会員懇談会を書面ではなく、会場で行い意見交換の場としていただきたい。 ・基調講演を短めに、パネルディスカッションの時間を長くしてほしい。 ・毎回多額の費用をかけて開催する必要はない。隔年で行えば、代協会費の削減にもつながると思う。 ・以前はiiaバッチ着用が義務付けられていたと思うが、全国の代協会員が集う公式行事なので徹底するべきだ。 【懇親会】 ・会場が狭く立食は疲れる、寒かった。
講演・講師	【講演・分科会】 ・ソリューションやビジネスマッチングによるフィービジネスについて ・M&A、事業継承 ・代理店の生き残り策 ・社会貢献の意義を学べるセミナー ・代理店経営に有益な情報 ・業界最先端(金融庁)の話題 ・分科会講師と参加者とが意見交換できる時間がほしい。 ・日本代協役員と保険会社社長との本音を語るパネルディスカッションをしてほしい。 ・パネルディスカッションは、現役の営業社員、事務部門担当者など視点が異なる若手がいた方が良いと思う。 【講師】 ・カリスマと呼ばれている方などの話が聞きたい。 ・今回の基調講演もとてもよかったので、他業種の地道な仕事からの成功事例紹介できる方(保険分野以外の方) ・人材育成、体制整備をテーマに青山学院陸上部 原監督 ・地方創生で活躍している地方の方 ・人材採用、育成の成功者 ・中崎講師(分科会)

第14回日本代協コンベンションにおける運営面で検討視点

- 式典等の運営見直し
 - ・功労者表彰の紹介文はパンフレットに記載(顔写真付)もしくはスクリーンに映すなど時間短縮の検討が必要。
- 懇親会
 - ・乾杯までに時間がかかりすぎており(約30分)間延びした、との意見が多く、可能であれば来賓あいさつの時間短縮を依頼。
 - ・引き続き着席方式での開催要望が強い。
- 基調講演・分科会
 - ・毎回指摘されていた、講演中の離席者散見については、引き続き最低限のルールを徹底。
- その他
 - ・参加者のiiaバッチ着用義務化を検討。

【コンベンション開催スケジュール】

第15回日本代協コンベンション：2026年11月13日(金)、14日(土) グランドニッコー東京 台場、損保会館等

